



JASDAQ

2020年5月14日

各 位

会社名 内外テック株式会社
代表者名 代表取締役社長 岩井田 克郎
(JASDAQ・コード3374)
問合せ先 取締役 佐々木 政彦
電 話 03-5433-1123 (代表)

業績予想値と決算値との差異に関するお知らせ

2019年5月14日に公表いたしました2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の通期業績予想値(連結)と、本日公表の2020年3月期決算の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想値と決算値との差異

2020年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2019年5月14日発表)	百万円 21,900	百万円 475	百万円 443	百万円 300	円 銭 102.27
今回実績(B)	23,825	547	533	333	114.07
増減額(B-A)	1,925	72	90	33	—
増減率(%)	8.8	15.4	20.5	11.3	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	25,963	632	621	409	139.74

2. 差異の理由

半導体市場や半導体製造装置市場では、半導体メーカーによる半導体メモリの在庫調整を目的とした設備投資の慎重姿勢は継続しましたが、年度中頃より5G(次世代通信規格)の本格普及を見据えたロジック半導体の生産力拡大に向けた設備投資が強まる動きとなりました。

FPD(フラットパネルディスプレイ)製造装置市場におきましては、テレビ用大型液晶パネル向けの積極的な設備投資が見られましたが、中小パネル向けの設備投資が低調で推移するなど市場全体としては投資の抑制傾向が継続しました。

この結果、半導体・FPD製造装置などの各種コンポーネンツ(部品)の販売等が堅調に推移したことを主因に、「売上高」、「営業利益」、「経常利益」および「親会社株主に帰属する当期純利益」の実績値は予想値を上回りました。

以 上